

# 富山市へのLRT体験見学会 報告書



平成29年11月30日 開催  
清原地区

## ◎見学会の概要

(1)日 程 平成29年11月30日(木)

(2)人 数 12名

### (3)見学テーマ

宇都宮市が進めている「ネットワーク型コンパクトシティ」のまちづくりやLRT(次世代型路面電車システム)について学ぶため、先進地である富山市を視察し、実際にLRTを乗り降りするとともに、清原地区が考える「LRTの停留場整備に合わせた地域のまちづくり」の参考となるような停留場や周辺施設を見学する。

### (4)行 程



## ◎見学の様子



▲富山市の中心部（街なか）を走るセントラム（富山市内環状線）



▲セントラムへの乗車（左上はL R T 接近の案内表示）



▲富山市公共交通まちづくりインフォメーションセンターを見学



▲岩瀬浜停留場（富山ライトレール）でのバスとの乗り継ぎを見学



▲地元の歴史である「北前船」をPRする岩瀬浜停留場

(富山ライトレール)



▲車両基地のある城川原停留場（手前は折り畳み式のベンチ）

(富山ライトレール)



▲富山駅北停留場。この日はベビーカーも一緒に乗車していた。  
(富山ライトレール)



▲JR富山駅構内でのオリエンテーション風景

## ◎参加者の発見・感想

(テーマ1)	
LRTを実際に体験してきたからこそ皆さんにお伝えしたいLRTの魅力 ※設問の(1)~(9)は、参加者の平均点を記載	
(1)車両の乗り降り	<p>難しい 1 2 3 4 5 優しい</p> <p>4.5 ★</p>
(2)車内の乗り心地	<p>悪い 1 2 3 4 5 良い</p> <p>4.0 ★</p>
(3)車窓の大きさ等（車内の視点）	<p>悪い 1 2 3 4 5 良い</p> <p>4.0 ★</p>
(4)車両デザイン	<p>格好悪い 1 2 3 4 5 格好良い</p> <p>4.1 ★</p>
(5)運行間隔（待ち時間）	<p>時刻表が必要 1 2 3 4 5 気にならない</p> <p>4.0 ★</p>
(6)電車接近などの案内情報	<p>役立たない 1 2 3 4 5 役立つ</p> <p>3.8 ★</p>
(7)交通ICカードによる支払い	<p>不便 1 2 3 4 5 便利</p> <p>4.8 ★</p>

(8)歩行者や自転車への安全対策		
配慮されて いない	1      2      3      4      5 	配慮されて いる
(9)バスや自転車などとの乗り継ぎ		
不便	1      2      3      4      5 	便利
(10)その他（自由記載）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設のバリアフリー化，バス・路面電車の一体型ホームは高齢者にとって安全・便利で利用しやすいと感じました。</li> <li>・ かつて経験したS 3 7年代の都電，S 4 5年の函館・札幌市電の乗車体験と比べて良くなっている。未来の子どもたちに足をプレゼントしたい！！</li> <li>・ 座席が「2人掛け」にしては狭いと感じた。</li> <li>・ 降車ボタンが座席付近にあれば便利と感じたが，乗客に尋ねたところ「不便は感じない」との回答だった。</li> <li>・ 次の駐車場の表示など，L R Tの走行状況がデジタルだと良いと思った。</li> <li>・ 全国共通のICカード（S u i c aなど）が使えると，なお便利だと感じた。</li> <li>・ 信号による平面交差は，なるべく避けた方が良いと思った。</li> <li>・ 乗車体験で小学校に隣接する一部ルートを体験したが，学校と道路境界（歩道・車道）が明確に区画されており，安全面で不安を感じない状況が確認できた。</li> <li>・ 清原に持ち帰り，地域交通に役立てることができる。</li> <li>・ 車両に自転車の持ち込みも可能にされてはどうか？</li> </ul>		



(テーマ2)

富山市内環状線や富山ライトレールを体験して、芳賀・宇都宮のLRT整備や運営に反映したい点

- ・ 市街地外は別として、住宅地においては駅と駅との間は短い方が良いと思う。時間のロスとの関係が問題だが、ICカード利用により、客の乗り降りがスムーズに行くのは良いと思う。
- ・ 駅やトランジットセンターの設計に余裕がある。広さと設備の確保を取り入れたい。
- ・ 各停留場に駐車場や駐輪場のスペースが十分あり、利用者にやさしい工夫がされている。当方でもぜひ反映してほしい。
- ・ 運行ありきではなく、停留場やトランジットセンター周辺のまちづくりも並行して整備する必要があると感じた。
- ・ 停留場の乗り入れ方法、トランジットセンターまでの方法、徒歩・自転車ではなく、車の対応。駐車場の確保を十分に。
- ・ 富山ライトレールの優れた点を参考に、宇都宮ライトレールに採用して欲しい。
  - ①重点停留場にレンタルの自転車が常備されていた。
  - ②ICカードの利用を強くPRして、乗り降りの便利さを強調してほしい。
- ・ JRと東武鉄道の駅とLRTの乗り入れ
- ・ 各停留場に駐車場をいかに確保すべきかが課題だと思う。
- ・ 私たち清原地区での乗り降りと人口集中度合いを考慮すると現在の必要度は少ないが、今後、イベントホールや商業施設などが積極的にまちおこしに活用できると富山で実感した。
- ・ 停留場の環境ごとに利便性（自転車・自動車）について地域の意見を聞いてほしい。
- ・ 停留場の段差がないことに（バリアフリー）、気配りをしてください。
- ・ レンタル自転車基地を整備

(テーマ3) 参加者が強い印象を受けた停留場とその理由	
ア) グランドプラザ前停留場 (富山市内環状線)・・・5人 【特徴】 まちなか賑わい拠点「グランドプラザ」との連携	<p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ LRT沿線にイベント広場を作り，LRTに乗っていただく工夫がされている。</li> <li>・ オリオンスクエアと同じように街中にイベントスペースが多い。</li> <li>・ LRTによる集客方法の検討と駅西の路線の検討</li> <li>・ 駅から15分位のところに広いスペースがあり，各種イベントも開催でき，賑わいの場として市民に利用されている。 宇都宮LRTにもこうした拠点が整備できればと思う。</li> </ul>
イ) 富山駅前停留場 (富山市内環状線)・・・3人 【特徴】 歩行者や自転車への安全対策，JR駅との連携	<p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅の歩道が広いのと，自転車の利用が，LRTへの関心が高いと思った。</li> <li>・ 駅の構内までLRTが入っていくことが印象的であった。</li> <li>・ 駅前の土地確保と利用精神，広いスペースの確保</li> </ul>
ウ) 岩瀬浜停留場 (富山ライトレール)・・・4人 【特徴】 フィーダーバスとの乗り継ぎ施設	<p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 乗り継ぎバスの時間が良くできている。</li> <li>・ LRTが到着した時に公共バスが停車していて，すぐに乗車できることは大変素晴らしいことである。</li> <li>・ バス，路面電車の一体型ホームは利用者に対して安全だけではなく，思いやりを感じた。</li> </ul>

(テーマ4)

今回の体験見学会を通じて感じた感想や見つけた発見

- ・ 富山駅前のライトレールの乗り降りは、良くできている。
- ・ LRTは、地域の「点と線と面」であり、子どもたちに「つなぐ」ためにも実現してください。
- ・ 早期に子どもと高齢者への体験乗車を行ってください。
- ・ 今回の視察のような利用者に配慮した設備や工夫が見られ、今後の地元の整備に反映させたい。
  - ①車内の傘の無料貸し出し
  - ②富山駅のイベントの活用方法とLRTの活用が利用促進に寄与していることが分かった。
  - ③岩瀬浜停留場の駐車・駐輪場の整備・活用
- ・ 富山の住民のまちづくり意識の高さを実感した。
- ・ 10年、30年、50年先を見越したまちづくりが必要で、「今後、いかに賑わいのある宇都宮市、清原地域を作っていくか」が我々の課題と考えさせられた。
- ・ 市民の足となっている様子が伺えたこと。LRTと一般車両が程よく走っている。窓の面積は丁度よい
- ・ 富山駅前広場を見て感じたことは、宇都宮駅東口広場の土地活用は、市のPR施設等を考慮した面積を確保して計画して欲しい。集客を優先しないで十分な検討をお願いしたい。
- ・ 駅東から中心街への運行、循環バス等の細かな対応が必要。
- ・ LRT区間内に魅力ある拠点がいくつかあれば、将来的に環状線的なルート整備も望まれるのでは（長期間の検討を要すると思うが）。
- ・ 税金の使い方に対する考え方、公共交通への投資も道路への投資と同じ目線だった。
- ・ 学校の裏側を富山ライトレールは走行しており、芳賀・宇都宮LRTもあまり心配する必要はない。
- ・ 今回の研修はただの見学研修ではなく、皆さんLRTに関心のある方々に参加いただいた結果、皆さん熱心に質問をしているなど、とても良かったと思った。

他の地域にも関心のある方がたくさんおられると思うので、出来る限り大勢の方に参加をいただき、理解を深めてほしいと思った。

## ◎まとめ

今回、富山市にL R Tの体験見学に出かけ、地元の歴史である「北前船」を停留場のデザインに反映した岩瀬浜停留場や、周辺に交流の場が整備されたグランドプラザ前停留場など、L R Tと乗り場が一体となったまちづくりを見学することができ、宇都宮市でも、交通のつながる場所と人が集まる場を上手く活かしていくことが大切だと感じました。

また、富山市ではL R Tとつながる乗り物として、駐輪場やレンタル用の自転車が整備されており、30年ぶりに小学校が新設される清原地区では、小学生、中学生、高校生など、これから自転車での移動がますます盛んになっていくことが考えられるため、L R Tの整備だけではなく、将来を見据えた駐輪場などの周辺施設の整備も重要になると感じました。

体験会に参加して思うことは、今後、清原地区ではL R Tだけではなく、地域の足となる地域内交通のさらなる充実を図り、より暮らしやすい地域を目指していくことが重要でありますので、今回、体験させていただいた内容を広く地域の皆さんと共有し、宇都宮市とも積極的な意見交換を行いながら、これからも清原地区のまちづくりに取り組んでいきたいと思えます。

ぜひ、他の地域の方々も「百聞は一見にしかず」の精神で富山市へのL R T体験見学会に参加していただければと思います。